

慶應義塾大学理工学部同窓会 幹事会 議事録

当会の2026年度幹事会に関し、当会会長 落合正行 は、各幹事に対して、下記の通り幹事会の目的事項を報告および提案した。2025(令和7)年6月24日までに、議決権を行使することができる会員全員から、書面にて7分の1以上の承認(委任含む)する旨の意思表示があったので、幹事会への報告および幹事会の決議があったものとみなす。

議決権を行使できる幹事の総数 564名

回答者 189名 未回答者 375名

1. 2025年度事業報告・決算報告

承認 186名・不承認 0名・委任 3名の回答があり、原案通り承認された。

2. 2026年度事業計画・予算案

承認 185名・不承認 0名・委任 4名の回答があり、原案通り承認された。

3. 新規オリジナルグッズ・アンケート

藤原工大校章入り希望 15名・ペンマーク入り希望 155名・無回答 19名

4. その他

以下の意見・要望があった。

(1) 決算報告書で支出の部の予算差異は決算—予算として計算したほうが赤字の三角印がわかりやすいです。

【回答】

2025年度幹事会書面決議にて、「予算差異(決算—予算)は(予算—決算)に変えたほうがわかりやすい表現です」とのご指摘を受け、今年度より、「(予算—決算)」に変えさせていただきました。

(2) 終身会費制を取り入れることにより、近年の会費収入は増えてきていると思いますが、将来的には毎年度の会費収入は減ってきます。終身会費は将来の会費収入の前取りになります。なので、一時的に増えた終身会費は、将来の運営費の原資として別会計(基金)に組み入れ、安全性の高い金融商品で運用・管理するのが基本だと思いますが、それについては、どのように処理されているのでしょうか？

【回答】

会費収入を金融商品で運用・管理することにつきましては、貴重なご意見として、今後、検討をおこなって参ります。

(3) その他のご意見

- ・ AI対応の学科の充実&産学連携を希望します。
- ・ 執行部の皆様に多くのご対応をいただき感謝申し上げます。
- ・ 同窓会に申し上げるべきかわかりませんが、ホームカミングデーの日取りについて、藤原賞の懇親会といった理工学部卒の他のイベントとは重ならないように配慮頂けると今後嬉しいです。
- ・ 理工学部同窓会報、弊方の伝言板の読者が多く、驚いております。今後も、読者を元気づけることが出来る伝言を記載させていただきますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。いつも大変お世話になっております。どうもありがとうございます。
- ・ 連合三田会大会での講演会内容の周知、理工学部同窓生が積極的に参加できるような工夫を期待致します。
- ・ 1974年当時は「藤原記念」の文字が入り、第1期卒業生多数が教授をされていました。永井隆先生作詞の校歌「惜春の辞」は強制的でしたね！ それから50年・・・歴史の中に「藤原工大」が残るのみで、あと何年この記憶は

残るでしょうか？残念ですが、今後は「慶応義塾」に統合すべきと考えます。

- ・ 山形様、同窓会のフォローをしていただき、ありがとうございます。
- ・ 山形様のご尽力で、同窓生たちとの交流が活発化しているように思います。なかなか、矢上台に参る機会がありませんが、お元気な山形様とお目にかかれる機会があればと思います。

以上の通り、2026年度の幹事会が正式に成立したとみなされたので、会長 落合 正行が本議事録を作成し、当会ホームページにて公開する。

2026(令和8)年7月1日
慶應義塾大学理工学部同窓会
会長 落合 正行